



社会医療法人 全仁会

倉敷平成病院

救急から在宅まで — 限りないQOLを求めて —



人生の充実
Quality of Life

救急指定
倉敷平成病院



「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」
— 限らないQOLを求めて —

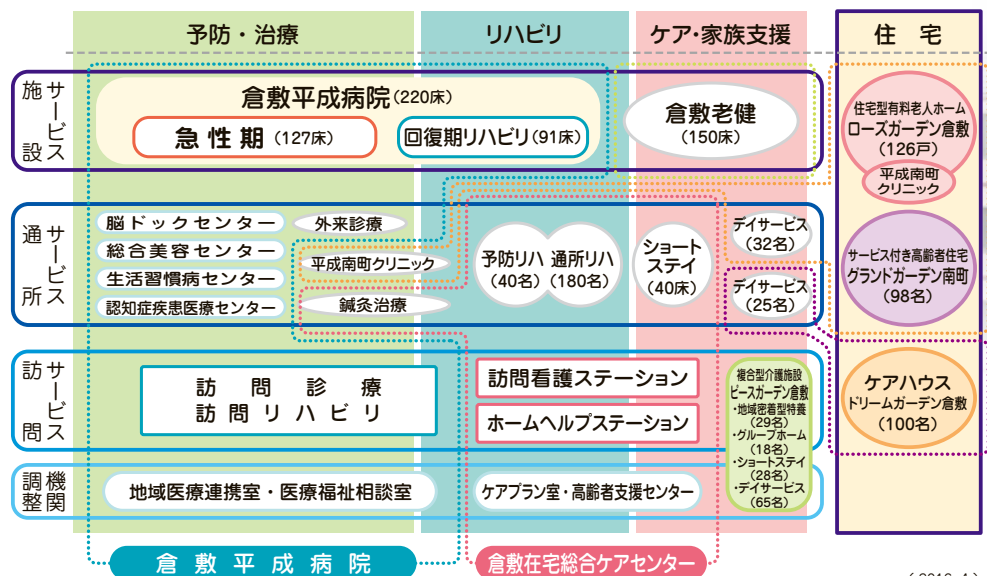
全仁会の
ビジョン

- 臨床・教育・研究の分野で患者本位の国際的水準の病院を目指します
- 急性期から在宅医療まで質の高い効率的な継続的医療を目指します
- 生活習慣病予防を基礎に予防医学を確立します
- 患者本位四原則のもとに質の高いチーム医療を目指します
- 患者さまの安全に配慮し、尊厳を尊重し、患者本位の原則を守り、患者さまに選ばれる病院を目指します

患者本位
4原則

- 患者さまのニーズを第一に最短でよくなる**正しい目標**を設定し、全人的に対応し、科学的根拠のある医療を行う
- 治療効果を上げるため、**正しい配置**につき、統合された質の高いチーム医療による患者本位の最善の医療を追求する
- 共に学び合う仲間を作り切磋琢磨し、全仁会医療人として個々のレベルを向上させ、**正しい機能**を発揮する
- 日々研鑽を惜しまず、わかりやすい、やさしい医療サービスを提供し、患者さまから**正しい評価**を受ける

トータル
ヘルスケア



(2016.4)

倉敷平成病院は、「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」という理念の下、昭和63年に脳神経疾患専門病院として開院いたしました。脳神経疾患に関連し予防医学の面で脳ドックを開設。平成21年6月には県西部初となる「3.0テスラMR」を導入するなど、脳神経外科専門医、神経内科専門医、麻酔科常勤医がチームで脳卒中の急性期治療にあたっています。リハビリテーションの重要性にも早くから着目し、急性期・回復期・維持期、各ステージでのリハビリテーションの充実に努めてまいりました。

また、介護保険施行前より、倉敷老健や倉敷在宅総合ケアセンター（訪問看護・訪問介護・通所リハ・ショートステイなどの複合施設）をはじめ、ケアハウスなどの在宅支援サービスを整備。平成16年には、住宅型有料老人ホーム「ローズガーデン倉敷」を開設、高齢者の安心で住み良い暮らしを支える在宅支援システムの構築につとめております。平成25年2月にはグループホームや地域密着型特別養護老人ホームを含む複合型介護施設「ピースガーデン倉敷」を、また同年12月にはサービス付き高齢者向け住宅「グランドガーデン南町」を開設。グループで一通りの医療や介護の全体を提供できる体制が整備されました。

病院では、脳ドックセンターをはじめ、平成14年には糖尿病に代表される生活習慣病の予防と治療を中心とした「倉敷生活習慣病センター」を、平成16年に美容外科・形成外科・婦人科・乳腺外科を診療科とする「総合美容センター」を開設、平成24年3月には、岡山県より「認知症疾患医療センター」の指定を受け、認知症の基幹病院として機能するセンターの構想を推進しております。

平成22年12月には社会医療法人の認定を受け、今後ますます、保健・医療・福祉のパートナーとして地域医療の発展に尽力する所存であります。



社会医療法人 全仁会 理事長 高尾 聡一郎



急性期医療

救急から在宅まで、専門の医療チームが「わかりやすい、やさしい医療」を提供しています。

脳神経疾患の専門病院として誕生した倉敷平成病院。平成21年6月には県西部初となる「3.0テスラMR」を導入し、技術の向上に努めるなど脳卒中を代表とする脳神経疾患には脳神経外科、神経内科をはじめ関連するスタッフチームが24時間体制で素早い対応を行っています。患者さんと私たちの信頼関係を大切に「わかりやすい、やさしい医療」を提供いたします。



脳神経外科 [手術]



血管撮影装置



マルチスライスCT



下肢CTアンギオ



CTパフュージョン



頭部CTアンギオ

診療科目

- 内科
- 神経内科
- 脳神経外科
- 脳卒中内科
- 整形外科
- 消化器科
- 循環器科
- 呼吸器科
- 耳鼻咽喉科
- 形成外科
- 皮膚科
- 眼科
- 総合診療科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科
- 和漢診療科
- 歯科
- 糖尿病・代謝内科 [倉敷生活習慣病センター]
- 美容外科 [総合美容センター]
- 形成外科 [総合美容センター]
- 婦人科 [総合美容センター]
- 乳腺外科 [総合美容センター]
- もの忘れ外来 [認知症疾患医療センター]



複数の医師チームによる症例検討



整形外科【手術】



循環器科



形成外科



皮膚科



呼吸器科



耳鼻咽喉科



眼科



歯科



スポーツ外来【整形外科】

スポーツ外傷（骨折・脱臼・靭帯損傷）や、スポーツ障害（野球肩・テニス肘）などのトラブルに対し、日本体育協会公認スポーツドクターが正確な診断、最新の知見に基づいた治療をトレーナースタッフと共に実施しています。



t-PA治療【脳卒中内科】

発症から4.5時間以内の超急性期の脳梗塞には、血栓溶解薬を静脈注射より投与することで、今までの麻痺や失語などの後遺症を軽減できる治療となっています。しかし、合併症として出血を引き起こすことがあり、投与に際して高い専門性が必要とされます。当院では、脳卒中内科専門医を中心に、脳卒中チームが24時間365日対応しています。



救急体制強化

救急指定病院としての任務を果たすべく、平成15年には新救急室を増築、最新の医療機器を導入し、当直者・待機医も増員するなど救急医療体制を強化しています。また、岡山大学救急医学科より講師を招き、近隣の消防救急隊、医療機関、職員を対象とした救急勉強会を開催。救急から在宅まで私たちの挑戦は続きます。



Voice

大切なのは、
患者さん・ご家族の希望に沿えること。
つまり「患者中心の医療」。
それぞれのQOLを大切にした診療を
モットーにしています。



倉敷平成病院 副院長
脳神経外科・救急部長
篠山 英道

Sasayama Hidemichi

脳神経外科領域は、脳出血、動脈瘤破裂など緊急性を要する事態に直面することが多々あります。当院では、脳神経外科と神経内科・脳卒中内科がチームを組んで脳卒中の急性期治療に当たっており緊張感を持って日々送っています。また、脳梗塞超急性期のt-PA治療も24時間対応の態勢をとっています。

センター構想

センター構想を推進し、さまざまな角度からあなたの健康をサポート。

認知症でお困りの方をトータルにサポート

認知症疾患医療センター [倉敷平成病院1階]

科目 もの忘れ外来・神経内科

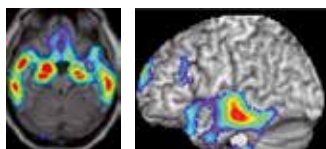
指定●平成24年3月

「認知症疾患医療センター」とは、認知症患者さんとその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるための支援の一つとして、都道府県や政令指定都市が指定する病院に設置するもので、倉敷平成病院は、平成24年3月に認定を受けました。

認知症疾患における鑑別診断、地域における医療機関等の紹介、問題行動への対応についての相談の受付などを行う専門医療機関です。



涌谷陽介センター長（前列左から2番目）をはじめとするスタッフ



VSRADの脳表面表示

倉敷平成病院では認知症の診断と治療において「もの忘れ外来」をいち早く開設。「早期アルツハイマー型認知症診断支援システム【VSRAD(ブイエスラド)】」を導入し、認知症の画像診断に役立てています。



涌谷センター長の診察



精神保健福祉士の相談

脳の健康へ扉を開く

平成脳ドックセンター [倉敷平成病院4階]

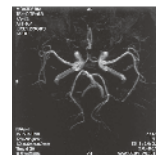
開設●平成5年10月

- 人間ドック機能評価認定施設
- 協会けんぽ生活習慣病予防健診指定医療機関
- 日本病院協会指定施設
- 日本脳ドック学会認定施設

自分自身、ご家族のため、そしてよりよき人生のために人間ドック・脳ドックで定期的な健康チェックを。

MRIやMRAなど最新鋭の診断装置によって、安全で痛みのない健康チェックを実施。

3大疾病（ガン、心臓疾患、脳血管障害）と生活習慣病、認知症の予防、早期発見に威力を発揮しています。



頭部MRA断層写真
未破裂脳動脈瘤、血管閉塞、動脈狭窄などを発見できます。



アトリウム



3.0テスラMRI



大橋センター長による結果説明

おかげさまで10周年

総合美容センター [倉敷平成病院1階] 科目 美容外科 形成外科 婦人科 乳腺外科 開設●平成16年6月



医療技術で 美と健康を追求。

総合美容センターは最新の機器と技術で、より美しく健康的な新しいあなたとの出会いをプロデュースします。カウンセリングを重視した診療で、各科の専門医がトータルに健やかな美しさを追求するお手伝いをいたします。
～アンチエイジング（老化防止）からレジュビネーション（若返り）～は、私たちのめざす21世紀の医療です。



美容外科診察



美容外科手術



婦人科診察



マンモグラフィ（乳腺外科）

生活習慣病（糖尿病）の予防から治療まで

倉敷生活習慣病センター [倉敷平成病院2階] 科目 糖尿病 代謝内科 開設●平成14年6月



予防から治療まで 専門医、専門職が チーム医療で 対応します。

日本人に多い高血圧、糖尿病、動脈硬化による心臓病や脳卒中、そしてガンなどの「生活習慣病」。これらの病気は食生活、運動、休養、喫煙、アルコール、ストレスなど日ごろのライフスタイルと深い関わりがあります。その予防と、徹底した治療を当センターが担います。



糖尿病教室【講義】



動脈硬化検診



青山診療部長の診察



糖尿病教室【食事会】



栄養指導



糖尿病教育入院【運動療法】



NST 回診



NST 認定書

NST (Nutrition Support Team) 栄養サポートチーム

医師・管理栄養士・看護師・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士など多職種チームが、栄養障害の患者さんに対して適切な栄養管理を行い、褥瘡や誤嚥性肺炎を予防し、免疫力低下にともなう院内感染の発生を抑制、適切な栄養管理により免疫力を改善し、病気の治療効果の向上をめざします。平成16年11月に活動を開始。平成17年10月にNST稼働施設に認定されています。

Voice

わかりやすいやさしい医療の実践で 患者さん本位の医療を。

倉敷平成病院 耳鼻咽喉科部長
わかりやすいやさしい医療推進委員会委員長
森 幸威



Mori Yukitake

「わかりやすいやさしい医療推進委員会」は患者さんにより質の高い医療と快適なサービスを提供するために、接遇標語の掲示、勉強会の開催やあいさつ強化月間を設けるなどの活動をしています。
インフォームドコンセントなど患者さん中心の医療が求められている今、我々全仁会の理念に基づき「患者さん本位の医療の実践」が必要とされているのです。

看護

ひとりの笑顔がみんなの笑顔に。
明るく充実した環境の中で真心のこもった看護をいたします。

専門職としての誇りを持って、自己研鑽の努力は惜しまない。

医療人としての自分を高め、信頼される看護師、介護福祉士をめざします。

「7：1看護」を実施し、救急から在宅まで、より充実した生き方をご支援しています。

基本方針

- 安全のために根拠に基づいた看護を提供します。
- 安心のために看護倫理に基づいた看護を提供します。
- 連携を図り、継続した看護を提供します。
- 専門職業人として自己研鑽に努めます。

看護部目標

【信頼に基づく、思いやりのある看護の実践】

専門的な知識と、安全・安楽な看護技術で、
心のこもった思いやりのある看護を
責任もって提供していきます。



手術前カンファレンス



フットケア処置外来

フットケア処置外来では、糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士、フットケア指導士が足の状態をチェックし、日頃の足のお手入れ方法の説明や胼胝、鶏眼、爪が切れない方への爪のケアなどを行い、足病変から足を守るためのサポートをしています。

足病変を予防するためには、普段から足に関心を持ち手入れすることがとても大切です。少しでも、みなさんの足を守るお手伝いができたらと思っています。一緒に大切な足を守っていきましょう。



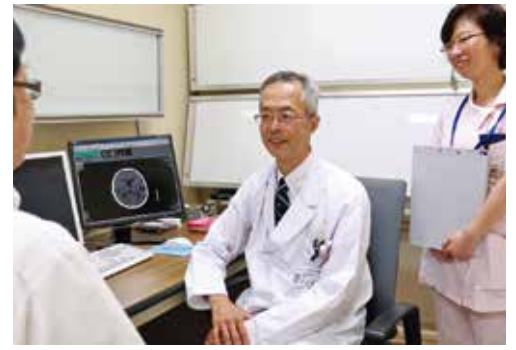
BLS研修（一次救命処置（Basic Life Support））

病院の中では、患者・来院者の急変や意識消失などの緊急事態が起こります。その時病院職員の誰もが、速やかに統一したレベルで一時的救命処置ができるよう、看護師が全職員を対象に研修を行っています。指導するのは、公認BLSヘルスケアプロバイダコースを受講した看護師です。





救急



診察



手術



病棟



回復期リハビリ病棟



チーム医療



訪問看護

Voice

充実した職場環境が
スキルアップを
応援してくれます。



倉敷平成病院 外来看護主任
糖尿病看護認定看護師・呼吸療法認定士
岩崎 紀代美

Iwasaki Kiyomi

平成25年に半年間の研修を終え、糖尿病の認定看護師となりました。当院は、勤務調整や費用の面でも認定看護師への支援制度が充実しているので、自分の意欲があればスキルアップできる環境が整っています。現在外来2階の生活習慣病センターで専門的知識を提供しながらインスリン自己注射、フットケア、透析予防などの療養支援を主に行っています。今後も糖尿病チームの一員として取り組んでいきたいと思ひます。

Voice

いつの日か
「あなたがいるから安心」
と、頼りにされる
看護師になりたいです。



倉敷平成病院 3階西
看護師
石井 桃子

Ishii Momoko

入職して4年目です。覚えることがたくさんでしんどいと感じることも多いですが、先輩や同期が支えてくれます。今年6名の新人が3階西に配属されました。私が助けてもらったように、しっかりサポートしていきたいと思ひます。患者さんの笑顔は何よりも力の源です。今は、本当に看護師になってよかったな、そう思える充実した毎日です。

リハビリテーション

患者さん自身の「納得ゆく人生」の実現をめざし、包括的なリハビリテーション体制を拡充しています。

リハビリテーションは、救命医療と連携しながら、身体機能の回復訓練だけでなく、患者さん一人ひとりが納得ゆく生き方や、よい生き方ができるように支援しようという技術・思想体系。

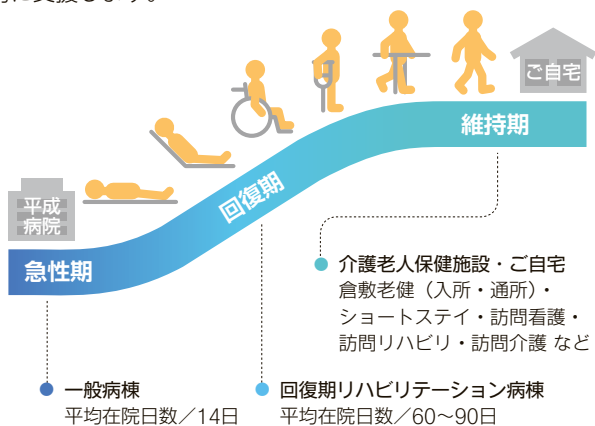
倉敷平成病院ではリハビリテーション科専門医が常勤2名体制で「回復期リハビリテーション病棟（91床）」を運営。この病棟は平成24年4月より「回復期リハビリテーション病棟入院料〔1〕」を取得。急性期、回復期、維持期と、すべてのステージで専門スタッフがチームアプローチを実践し効果をあげています。



広いフロアのリハビリテーションセンター
(613㎡)

倉敷平成病院リハビリテーションセンターでは救急から在宅まで一貫したリハビリテーションを提供し、患者さんを中心にした最善の医療を目指しています。

入院された患者さんに、急性期から回復期までを通じて一貫したリハビリテーションを実施し、機能向上、寝たきり予防を図り、多職種の強力なチームアプローチを実践し、患者さんの機能向上と1日も早い退院を目指してサポートしています。退院後には、外来診療・リハビリテーション、介護保険での通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションを展開し、さらに、関連施設との連携により患者さん、ご家族の生活を包括的に支援します。



歩行訓練 [理学療法士]



作業療法



理学療法



リハビリテーション科専門医による診察



言語聴覚療法



心理療法

全仁会のリハビリスタッフ

PT [理学療法士]	61人
OT [作業療法士]	44人
ST [言語聴覚士]	17人
CP [臨床心理士]	6人

(平成28年5月現在) 合計 128人



回復期リハビリテーション病棟
リハビリテーション充実加算
(91床・365日実施)

回復期リハビリテーション病棟は、急性期での治療を終えられた患者さんへリハビリテーションを中心とした治療を行い、1日も早く良くなっていただくことを目的とした病棟です。平成24年より、回復期リハビリテーション病棟入院料【1】の施設基準を取得。県下でも最大規模を誇っています。



訪問リハビリステーション

平成20年4月に開設された「訪問リハビリステーション」は、回復期リハビリ病棟などを退院された患者さんのご自宅に、理学療法士や作業療法士が訪問し、目標を持って在宅環境での動作訓練やご家族への介護指導、環境整備などを行います。退院直後の在宅生活を支援するサービスは安心感につながります。



VF (Video Fluoroscopy)

えんげ
嚥下障害への取り組み

リハビリテーション医、耳鼻咽喉科医、言語聴覚士 (ST)、放射線技師、看護師などが連携してVF (Video Fluoroscopy) やVE (Video Endoscopy) など、より質の高い、嚥下機能評価を実施。各科の枠を超えたチームアプローチで積極的に取り組んでいます。



急性期リハビリ



整形外科医によるリハビリ勉強会

Voice

救急から在宅まで継続的な
リハビリテーションを実施。



倉敷平成病院
理学療法士

清水 亮祐

Shimizu Ryosuke

今年で、勤務して3年目となります。患者さんに寄り添い、個々のニーズに応えられるセラピストを目指しています。全仁会では、様々な疾患を対象に、また急性期から維持期まで幅広い分野に継続的なリハビリテーションを行っています。スタッフ間でのチームワークもよく、セラピストとして自身が成長していくうえでとても適した職場だと感じています。

チーム医療

多職種連携で、最善のチーム医療を提供します。

当院では医師と看護師、セラピスト、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士などの他の医療スタッフ（コメディカル）が互いの専門性を尊重し、最大限の能力を引き出し合うことによって、最善の治療を行うチーム医療を実施しています。

放射線部

当院は、脳卒中、脳神経疾患に対する専門病院としての色合いが強く、その診断に際して、CT・MRI・脳血管撮影などの画像検査は欠かせません。私たちはこの画像検査全般を専門に行っている部門です。

放射線部では、放射線科医師が常勤し、脳神経疾患に限らず、他の診療科の医師とも緊密な連携を保ち、それぞれの診療科から依頼される画像検査を迅速かつ正確に行っています。



マルチスライスX線CT検査



3.0テスラMRI装置

臨床検査部

臨床検査は病気の診断、治療、また早期発見や予防に不可欠です。

患者さんの体に現れる様々な病気のサインを検査を通して把握し、病気の原因の追求を行うことが臨床検査の重要な役割となります。

患者さんから採取した血液や尿、便、細胞などを調べる「検体検査」と、心電図や脳波など患者さんを直接調べる「生理機能検査」を行っています。



検体検査



超音波検査

薬剤部

薬剤部では、調剤、注射準備、医薬品管理、医薬品情報管理だけでなく、病棟薬剤師業務や薬剤管理指導業務を通して、入院患者さんの薬物治療に積極的に関わっています。外来患者さんのお薬は院外処方となっています。

また、他職種との連携を推進し、感染制御チーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、認知症・せん妄サポートチーム、糖尿病療養指導チームなどのチーム医療において、NST専門療法士や糖尿病療養指導士などの資格を活かし、チーム医療の一員として安心・安全な医療の提供に努めています。



医師・看護師とのディスカッション



病棟服薬指導

栄養科

入院患者さんにおいしく、満足していただける食事を提供できるよう、各疾病に対応した治療食などの献立作成、食事の提供を行っています。

また、食事療法の必要な方への栄養指導、糖尿病料理教室など、患者さんに関わる機会も多くあります。NST活動では多職種で協力しながら低栄養の患者さんの栄養状態改善、早期退院、QOLの向上を目標に日々努力しています。

随時、栄養相談を受け付けておりますので、お気軽にお尋ねください。



糖尿病料理教室

医療福祉相談室

医療ソーシャルワーカー (MSW) を配置し、入院中・外来通院中を問わず、患者さん・ご家族の方々のお困りのことについてご相談に応じています。法人内でも関連施設と共にソーシャルワーカーの活躍の場も増え、業務の幅も広がっています。今後も院内、地域との「連携」を実践し、様々な相談に対応できるように日々努力を重ねていきたいと思っております。



医療相談

医療秘書課

医師が医師本来の診療に専念できるよう、医師を補佐する部署です。医師の仕事を総合的に把握し、細かい部分まで行き届いたサポートを行っています。医師のスケジュール管理、各種文書代行作成、書類管理等が主な業務です。平成19年創設と新しい課ですが、病棟ラウンドでの診療録への代行記入等、仕事の内容を広げ、課全体のスキルアップを目指します。



医師の指導で代行業務

医事課 (外来受付)

患者さんがまず一番に関わる病院の顔として、病院の印象を左右する大事な部署です。体の不調、痛みや不安を抱えて受診される患者さんに、少しでも和らいでいただけるような表情や心遣い、言葉掛けに取り組んでいます。

診療科の案内、診察の受付、各種文書の受付など、変わっていく医療制度等に対応し、患者さんへのサービス向上に繋がっていきたく考えています。



外来受付

Voice

私たち専門職が
患者さん中心のチーム医療を
実践します。

倉敷平成病院 管理栄養士主任
NST 専門療法士・糖尿病療養指導士・NR (栄養情報担当者)

小野 詠子



Ono Eiko

管理栄養士は、入院患者さんの栄養管理や食事の献立作成、栄養指導 (外来・入院) 等が主な仕事です。NST 回診や糖尿病教育入院など多職種がそれぞれの専門性を生かし、協力してチーム医療に取り組んでいます。様々な資格をとるための勉強会や研修参加へのバックアップ体制も整っており、恵まれた職場環境に感謝しています。

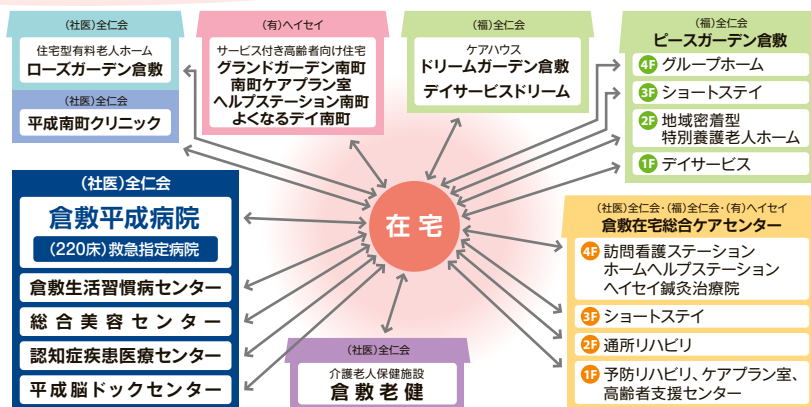
ケア・在宅支援

家庭復帰をめざすケアとリハビリ。 そして24時間365日の在宅支援サービス。

倉敷老健は、病院と在宅との中間施設として、社会・家庭復帰、自立のお手伝いをしています。

倉敷在宅総合ケアセンターは、通所サービス（予防リハビリ・通所リハビリ）、訪問サービス（訪問看護ステーション・ホームヘルプステーション）、ショートステイ、ケアプラン室など全ての在宅支援サービスを統合した、県内初の医療法人と社会福祉法人の複合施設です。

● 全仁会在宅支援システム



病院と家庭との中間施設として、社会・家庭復帰、自立をお手伝い

介護老人保健施設 **倉敷老健** 定員 入所/150名 開設 ● 昭和63年12月



施設長診察



個別リハビリ



音楽療法



くもん学習療法

倉敷老健5つの理念

● 包括的ケアサービス施設

倉敷老健は、倉敷平成病院と連携し、入所者が障害を持つ高齢者であることを十分考え、適時に素早く必要な医療を提供します。

● リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、家庭環境の調整など、生活機能向上を目的に、専門職が集中的な維持期リハビリテーションを行います。

● 利用者の家庭復帰をめざす施設

入所者がその能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、施設サービス計画に基づいて、日常生活上のお世話をし、在宅生活への復帰を目指します。

● 在宅ケアを支援する施設

入所者の意志及び人格を尊重し、入所者の立場に立って1日でも長く在宅で自立した生活が送れるよう、支援を行います。

● 地域に開かれた施設

地域の高齢者ケアに関する社会資源として住民のニーズに応え、福祉の道を志す学生の教育実習やボランティアの受け入れなどを通じて地域の高齢者ケアの向上に貢献します。

● サービス内容

入所

お世話を必要とする要介護の方に、医師、その他専門スタッフによる健康チェック、リハビリテーション、日常生活のお世話などを行い、家庭への復帰をお手伝いします。

短期入所

冠婚葬祭、農繁期や介護疲れの解消など、一時的に介護ができなくなるときに利用できます。

1階 ケアプラン室

倉敷在宅総合ケアセンター 居宅介護支援事業所

ケアプランをはじめ介護に関することなら何でも、ケアマネジャーがご相談を承ります。

- 介護に関するご相談
- 介護保険申請手続きの代行
- ケアプランの作成

高齢者支援センター



老松・中洲高齢者支援センター

- 介護予防を推進します。
- 総合的な相談・支援窓口になります。
- 介護や介護予防に関する教室を開催します。
- 申請手続きの受付・代行をします。

予防リハビリ

● 定員/40名



倉敷平成病院 通所リハビリテーション

ご利用の方の状況に合わせ、きめ細かな対応で、脳機能や身体機能に対するプログラムを組み合わせ「元気を作るサービス」を提案・展開させていただいています。



4階 しんぎゅう へいせい鍼灸治療院 日中合作医学研究センター

中国の北京中医薬大学出身の専門医による指導のもと、治療を実施。疼痛性疾患、過敏性疾患、原因不明の様々な病気に対して威力を発揮しています。

2階 通所リハビリ

● 定員/180名



集団体操



個別リハビリ

倉敷老健 通所リハビリテーション

脳活性化リハビリをレクリエーションプログラムに取り入れ、また身体機能向上を目指して短期集中リハビリを行い「良くなる通所リハビリ」を目指しています。

3階 ショートステイ

● 定員/40名



倉敷在宅総合ケアセンター ショートステイ

介護するご家族にも配慮した、これからの在宅介護。より充実した在宅介護には、介護されるご家族のQOL向上のための支援が大切です。

4階 へいせいホームヘルプステーション 医療福祉研究所へいせい



訪問介護サービス

福祉用具貸与・購入サービス
住宅改修



訪問入浴介護サービス

介護タクシー
(通院等乗降介助)



へいせい訪問看護ステーション



訪問介護・訪問リハビリ

住宅・在宅支援

住む人が心から人生を楽しむための住まい

住宅型有料老人ホーム **ローズガーデン倉敷** [倉敷市南町] **戸数** 126戸 開設●平成16年9月

●(公社)全国有料老人ホーム協会正会員



もうひとつ上のシニアライフを — 予防・医療・福祉の連携を実現できる住宅が、ケアの連続を誇る全仁会グループから誕生。

建物はプライバシーに考慮した安心設計。毎日生活する所だからこそこだわりました。



第9回 倉敷市建築文化賞奨励賞
(住宅部門)受賞



平成23年1月より平成南町クリニックを併設

4つのコンセプト

- ユニバーサルデザインの視点で考えられた住む人に優しい住まい
- ライフステージは憧れの街「倉敷」美観地区すぐ近く
- 自由に、自分らしく生きるために様々なサービスの提供
- QOLを実践する全仁会グループが全面的にサポート



ロビー



ロビーコンサート(ハープ・ヴァイオリン)



Aタイプ居室(35㎡) ※Cタイプ居室(70㎡)

平成南町クリニック 説明と納得の医療で地域をサポート

●科目 内科 呼吸器科 開設●平成23年1月 [ローズガーデン倉敷1階]

平成南町クリニックは、倉敷平成病院との密接な連携をもって診療します。幅広い初期診療の他、禁煙治療・睡眠時無呼吸診療など総合的診療を行います。キズ・ヤケドの浸潤療法、糖質制限指導も行っていきます。どなたでも受診していただけます。



玉田 一郎院長の診察



クリニック入口

倉敷美観地区至近の南町から始まる新生活

サービス付き高齢者向け住宅 **グランドガーデン南町** [倉敷市南町] **定員** 98名 開設●平成25年12月

サービス付き高齢者向け住宅で安心・快適な生活を過ごしてみませんか。

グランドガーデン南町は、高齢者の方に安心して地域に住み続けていただける賃貸住宅として、居室や設備のバリアフリー構造等のハード面と、見守りサービスや安否確認・生活相談などのサービスを提供いたします。

全仁会グループの医療・介護と連携し、要介護状態であっても、ご入居の方が安心できる快適な生活をサポートしてまいります。



グランドガーデン南町の居室

バリアフリーで安心して生活をおくることができます。



24時間の見守り体制

看護師が勤務し介護スタッフは24時間常勤、生活状況の確認・緊急通報に対応します。



通所介護・認知症デイサービス [よくなるデイ南町]

メリハリある在宅生活、筋力・認知機能の維持を目指し、日々のサービスに取り組んでいます。



ケアマネジャーと綿密な相談 [南町ケアプラン室]

館内1階に、居宅介護支援事業所と訪問介護ステーションを併設しています。

快適な住空間と生きがい発見の場を提供しています。

心づくしの安心とケア

ケアハウス **ドリームガーデン倉敷** [倉敷市八軒屋] **定員** 100名 開設●平成7年10月

お部屋の居住性の良さはもちろん、共有スペースが暮らしの豊かさを広げます。

大浴場やホールなどの共有スペースをたっぷり用意し、各居室はプライバシーを守る構造でバリアフリー設計。部屋からの緊急コール、全室ベランダ付き、洗練されたくつろぎのスペース。どれをとっても快適なシルバーライフをエンジョイするのにふさわしいケアハウスです。



玄関ホール



一人部屋 (Aタイプ)



夏祭り

心づくしの安心とケア

お誕生日会や四季折々の楽しい行事を計画しています。また周囲の庭園を利用して野菜作り等の園芸も楽しめます。ご自分の家と同様に、自分らしく充実した暮らしが送れるようサポートします。

1階 デイサービス **ドリーム**
キラキラ輝く
人生のお手伝い

多彩なプログラムを通して、生活機能の維持・改善を行い、できる限り自立した生活を支援いたします。



寄り添うケアで心おだやかな環境を創造します

複合型介護施設 **ピースガーデン倉敷** 開設●平成25年2月

ピースガーデン倉敷は、「特養」「ショートステイ」「グループホーム」「デイサービス」の、一体的な連携運営を目指しています。



1階 リハビリステーションピース

● 定員/65名



2階 地域密着型特養 ピースガーデン

● 定員/29名 (3ユニット)



3階 ピースガーデン倉敷 ショートステイ

● 定員/28名



4階 グループホーム のぞみ

● 定員/18名 (2ユニット)



トータルヘルスケア

患者さん本位の「わかりやすい、やさしい医療」で
チーム医療を実践しています。

限りないQOLを求めて— 全仁会の4本柱



〈1〉のぞみの会

脳卒中の後遺症で悩む患者さんとそのご家族、さらに地域の皆さまと職員との交流の場、意見交換の場として年1~2回開催。疾病・予防に関する勉強会、リハビリ作品展、ふれあい広場などが催されています。平成28年で第51回を迎えます。



〈2〉神経セミナー

認知症・パーキンソン病・リハビリテーションなど、「神経疾患のより深い理解に立った医療・福祉の提供」を目的として定期的に開催し、平成28年で第29回。地域医療関係者、患者家族の方々とのコミュニケーション、また勉強の場として地域に根付いています。



〈3〉看護セミナー

看護のあり方・情報提供の場として、院内職員研修はもとより地域の医療機関の意見交換・交流の場となることを目的に、平成元年から開催。平成28年で第26回となります。最新の医療情勢を含んだ看護の技術や質の向上を目的とし、タイムリーな話題を提供しています。



〈4〉研究発表大会

「患者さんへの医療サービスの向上を図る」「全仁会職員の個々の質的向上とチーム機能の向上を図る」「全仁会の発展に貢献する」「報告・連絡・相談の徹底を図る」を目的として平成5年から毎年行われています（平成28年で第25回）。優秀演題は日本病院学会などで発表しています。

全仁会 組織図・グループ



社会医療法人全仁会
理事長
脳神経外科
高尾 聡一郎
Takao Souichiro



社会医療法人全仁会
名誉理事長
社会福祉法人全仁会
理事長
高尾 武男
Takao Takeo



倉敷平成病院
院長
整形外科
平川 訓己
Hirakawa Kunisugu



倉敷平成病院
名誉院長
脳神経外科
鈴木 健二
Suzuki Kenji



倉敷平成病院
副院長
神経内科部長
高尾 芳樹
Takao Yoshiki



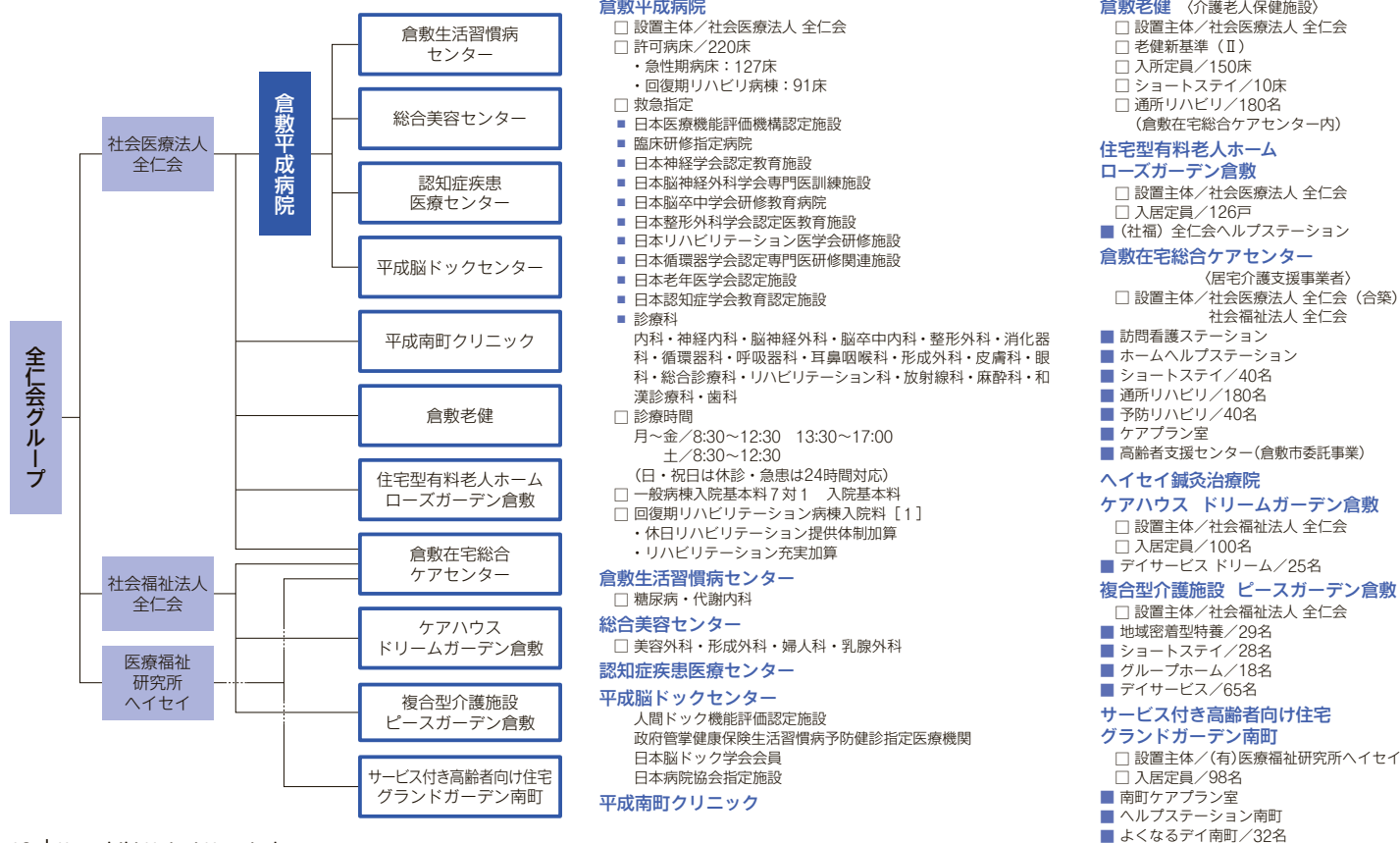
倉敷平成病院
副院長
救急部長・脳神経外科
篠山 英道
Sasayama Hidemichi



倉敷平成病院
看護部長
武森 三枝子
Takenori Mieko



倉敷平成病院
事務長
家村 益生
Iemura Masuo



全仁会グループのあゆみ

- 1988 (S63) 1/11 「高尾病院」開設
9/1 MR1号機導入
12/1 介護老人保健施設「倉敷老健」開設
- 1989 (H 1) 3/1 「倉敷平成病院」に病院名変更
- 1991 (H 3) 10/1 「在宅介護支援センター」開設
- 1992 (H 4) 10/1 「ハイセイ訪問看護ステーション」開設
- 1993 (H 5) 6/1 MR2号機導入
9/1 総合リハビリ施設の許可
10/1 「平成脳ドックセンター」開設
11/17 日本整形外科学会認定医教育施設認定
- 1995 (H 7) 10/1 ケアハウス「ドリームガーデン倉敷」開設
- 1996 (H 8) 6/7 第1期ホームヘルパー養成講座開講
8/24 日本脳神経外科学会認定医教育施設認定
9/1 「ハイセイホームヘルプステーション」開設
- 1997 (H 9) 4/1 日本神経学会認定医教育施設認定
- 1999 (H11) 7/1 「倉敷在宅総合ケアセンター」開設
- 2000 (H12) 4/1 「ハイセイ鍼灸治療院」開設
日本プライマリケア学会認定医研修施設
回復期リハビリテーション病棟開設
- 2001 (H13) 5/1 院外処方開始
6/1 特殊疾患病床開設
- 2002 (H14) 1/1 「倉敷生活習慣病センター」開設
12/1 開放病床(5床)開設
- 2003 (H15) 3/1 日本循環器学会認定施設
4/21 日本病院機能評価 Ver.3 認定
5/1 新病棟増築完成
● 2004 (H16) 3/31 臨床研修病院指定
4/1 生活習慣病予防健診実施医療機関指定
5/1 日本リハビリテーション医学会研修施設認定
6/1 「総合美容センター」開設
8/1 倉敷老健増床(100床→150床)
9/1 住宅型有料老人ホーム「ローズガーデン倉敷」開設
- 2005 (H17) 2/11 日本脳卒中学会研修教育病院認定
3/1 亜急性期病床開設
10/1 人間ドック機能評価認定
- 2006 (H18) 4/1 オータリングシステム導入
「地域包括支援センター」開設
- 2007 (H19) 1/1 回復期リハビリ病棟(46床→88床)
4/1 7:1看護実施
- 2008 (H20) 4/1 「訪問リハビリステーション」開設
- 2009 (H21) 5/1 日本病院機能評価 Ver.5 認定(更新)
6/15 3.0テスラMR導入
- 2010 (H22) 6/1 「デイサービス ドリーム」開設
12/1 「社会医療法人 全仁会」に認定
● 2011 (H23) 1/5 「平成南町クリニック」開院
- 2012 (H24) 3/28 岡山県より「認知症疾患医療センター」に指定
- 2013 (H25) 2/1 複合型介護施設「ピースガーデン倉敷」開設
12/1 電子カルテシステム導入
サ高住「グラウンドガーデン南町」開設
- 2014 (H26) 10/1 病床再編成(一般127床・回復期リハ91床)
12/1 グラウンドガーデン南町内に「よくなるデイ南町」開設
- 2015 (H27) 7/1 「(社福) 全仁会ヘルプステーション」開設
- 2016 (H28) 1/15 日本病院機能評価認定(一般病院2<3rdG: Ver.1.1>)



建設中の倉敷平成病院
昭和62年



倉敷老健の開設披露式典
昭和63年



倉敷在宅総合ケアセンター
平成11年



倉敷生活習慣病センター
平成14年



新病棟増築
平成15年



総合美容センター
平成16年



ローズガーデン倉敷
平成16年



倉敷老健新館
平成16年



25周年記念式典
平成25年

地域との交流



高尾理事長「救急講義」(倉敷消防局)



高校生ボランティア実習



倉敷 Jr. フィル演奏会



篠山副院長「健康講話」(倉敷南公民館)

平成27年度実績

平成27年4月から平成28年3月まで

倉敷平成病院平均在院日数	16.08日
救急搬入件数	2,149件/年
外来患者数	572.9人/日
入院患者数	193.9人/日
手術件数	1,284件/年
ドック利用者人数	7,016人/年
老健入所人数	143.5人/日
通所リハ利用人数	143.9人/日
ケアセンター ショートステイ利用人数	34.2人/日
訪問看護ステーション利用	75.6人/日
ヘルパー件数(老松)	64.2件/日
ヘルパー件数(社福)	68.6件/日
訪問入浴	13.6件/日
介護タクシー	38.3件/日
鍼灸治療院	608.0人/月
住宅型有料老人ホームローズガーデン倉敷	104.2人/日
ケアハウス ドリームガーデン倉敷(100名)	99.8人/日
複合型介護施設 ピースガーデン倉敷	
特養	29.0人/日
ショート	24.6人/日
グループホーム	18.0人/日
デイサービス	46.0人/日
サービス付き高齢者向け住宅 グラウンドガーデン南町	96.6人/日
ヘルパー件数(南町)	70.7件/日
デイサービス よくなるデイ南町	28.6人/日
ケアプラン件数	872.8件/月
南町ケアプラン件数	106.7件/月

魅力・情報の発信



マスコットキャラクター「ぜっとくん」

全仁会がより親しみを持っていただけるように、そして長く連携していけるように、平成25年1月に決定したロゴマークをモチーフにしたマスコットキャラクター「ぜっとくん」が誕生しました。



病院広報誌の発行

患者さんや地域の方に向けて、年に4回広報誌を発行しています。新任医師紹介、新設備、セミナー、催しなどのお知らせ、健康のための料理レシピなどを盛り込み、病院や施設の魅力とともに情報を発信しています。



Facebookページ開設

倉敷平成病院のFacebookページを開設しました。病院のホットな情報をリアルタイムでご紹介します。



全仁会グループ

社会医療法人 全仁会 社会福祉法人 全仁会 有限会社 医療福祉研究所ヘイセイ

倉敷平成病院

内科・神経内科・脳神経外科・脳卒中内科・整形外科・消化器科・循環器科・呼吸器科・耳鼻咽喉科・形成外科・皮膚科・眼科・総合診療科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・和漢診療科・歯科

倉敷生活習慣病センター 糖尿病・代謝内科

総合美容センター 美容外科・形成外科・婦人科・乳腺外科

認知症疾患医療センター

平成脳ドックセンター

岡山県倉敷市老松町4-3-38 〒710-0826 TEL.086-427-1111 FAX.086-427-8001

倉敷老健

岡山県倉敷市老松町4-3-38 〒710-0826 TEL.086-427-1111 FAX.086-427-8001

倉敷在宅総合ケアセンター

- ・訪問看護ステーション
- ・ホームヘルプステーション
- ・ショートステイ
- ・通所リハビリ
- ・予防リハビリ
- ・ケアプラン室
- ・高齢者支援センター
- ・ヘイセイ鍼灸治療院

岡山県倉敷市老松町4-4-7 〒710-0826 TEL.086-427-0110 FAX.086-427-8002

複合型介護施設 ピースガーデン倉敷

- ・地域密着型特別養護老人ホーム
- ・ショートステイ
- ・グループホーム
- ・デイサービス

岡山県倉敷市白楽町40 〒710-0824 TEL.086-423-2000 FAX.086-423-0990

平成南町クリニック

岡山県倉敷市南町4-38 〒710-0823 TEL.086-434-1122 FAX.086-434-1010

住宅型有料老人ホーム ローズガーデン倉敷

- ・ヘルプステーション

岡山県倉敷市南町4-38 〒710-0823 TEL.086-435-2111 FAX.086-435-2118

サービス付き高齢者向け住宅 グランドガーデン南町

- ・南町ケアプラン室
- ・ヘルプステーション南町
- ・よくなるデイ南町

岡山県倉敷市南町1-12 〒710-0823 TEL.086-435-2234 FAX.086-435-2224

ケアハウス ドリームガーデン倉敷

- ・デイサービス ドリーム

岡山県倉敷市八軒屋275 〒710-0037 TEL.086-430-1111 FAX.086-430-1195



≫JR倉敷駅から徒歩15分 ≫早島IC・倉敷ICから車で15分

URL : <http://www.heisei.or.jp/>

E-mail : heisei@heisei.or.jp



日本医療機能評価機構
認定第 JC2072 号